

10分でわかる

# 社会・経済のうごき@しんぶん.yomu

知っておきたい日本経済トピックスを新聞から抜粋しました。(公社)長井法人会(TEL88-3960 FAX88-3823)

## 日銀、景気判断に前向き表現

日銀は景気判断で、2008年秋のリーマン・ショック以降で初めて「緩やかに回復している」との前向きな表現を使った。景気回復への前向きな表現の背景には、2013年4～6月期の設備投資が3四半期ぶりにプラス圏に転じたことや、7月の失業率が低下して雇用・所得環境の改善が見られたことが背景にあり、日銀では「内需が景気を支えている」としている。

## 日銀総裁、消費増税先送りのリスクを指摘

黒田日銀総裁は政府の消費税増税集中検討会で消費増税を先送りすることで国債価格が暴落する大きなリスクがあり、先送りした際のリスクも考慮して増税の是非を判断すべきとの見解を示した。また、国債暴落となれば、政府は財政支出を抑制せざるを得なくなり、日銀は混乱した市場を鎮静化させるのも難しくなり、政府も日銀も対応できない実態に陥りかねない考えを示した。

## クレジットカード取扱高、過去最高に

経済産業省は、4～6月のカード取扱高が約9兆8800億円に達し、四半期としては過去最高を記録したと発表した。このうちショッピングが前年同期比8.1%増の9兆4200億円で、貸金のキャッシングは同8.3%増の4600億円となっている。カード利用の増加は個人消費の持ち直しが反映されたもので、さらにアベノミクスによる個人所得の増加を実現すれば、一段の利用増に結び付くものとみられる。

## 軽自動車の世帯普及率、過去最高に

全国軽自動車協会連合会の発表によると、今年3月末時点での軽自動車の100世帯当たりの普及台数は全国平均で51.8台となり過去最高を更新したことが分かった。37年連続となった背景には、税金などの維持費が安いのに加えて、駐車スペースを確保しやすい利点がある。都道府県別で100世帯当たりの普及台数で最も多かったのは佐賀県の100.2台で、鳥取県(100.1台)、島根県(98.3台)が続いた。

## ブラック企業の電話相談、残業代が過半数

厚生労働省が劣悪な労働環境のブラック企業に関する無料電話相談を行ったところ、「賃金不払い残業」の相談が53.4%で最多だった。相談内容(複数回答)は、「賃金不払い」に続き、「長時間労働・過重労働」(39.7%)、「パワーハラスメント」(15.6%)だった。同省では、「相談内容を精査し、労働基準法違反の疑いが強い企業について指導監督していく」としている。

## 派遣社員の働き方、二極化が鮮明に

厚生労働省の派遣社員1万2千人を対象にした調査結果によると、「正社員になりたい」人は43.2%、「派遣社員のままで働きたい」人は43.1%で、ほぼ同数であることが分かった。雇用の安定を望む半面、フレキシブルな働き方を望むといった、派遣社員の働き方が二極化している実態を浮き彫りにした。また、派遣社員のままで働くことを続けたい人の8割は長い期間働ける「常用雇用型」を望んでいることも明らかになった。

## 1人暮らしの「がん患者」半数が年収減に

がん患者の就労支援をするNPO「HOPEプロジェクト」の調査によると、1人暮らしでがんと診断されてから年収が減った人は52%に達していることが分かった。このうち無収入になった人は26%もあり、年収が半分以下になった人は46%だった。同プロジェクトは、「晩婚化や未婚率の上昇で1人暮らしのがん患者の増加が見込まれる」としたうえで、「収入が激減した人の治療費の負担軽減などの支援が必要だ」と指摘している。

## サザエさんTVアニメ放映、世界記録に

TVアニメ「サザエさん」(フジテレビ)の放送が世界最長としてギネス世界記録に認定された。同アニメは1969年の放送開始で44年間放映され、総放送回数は今月初めで2250回を記録している。現役家族3世代にわたる期間に及ぶTV放映ということになり、まさに国民的TVアニメといえる。これまでの認定記録は米国のアニメ「ザ・シンプソンズ」(1989年放映開始)だった。